



「見守り活動」から「見守られ活動」へ ～ホンモノの「支え・合い」づくり・5つのポイント～

近年、昔ながらのつながりが希薄化していると言われていた中、「見守り活動」が全国各地で取り組まれています。伊丹市においても各地区で「見守り活動」が取り組まれています。活動をする中で悩みごとも多いのではないのでしょうか。今回は「見守られ活動」にスポットを当て、支え合いづくりについて考えます。

同じく各地区で行われている防災マップや支え合いマップについても作成のポイントについてお話をいただきます。

「見守り活動」と合わせて「見守られ活動」について、ぜひ考えてみませんか。

講師

酒井 保

(さかい たもつ)

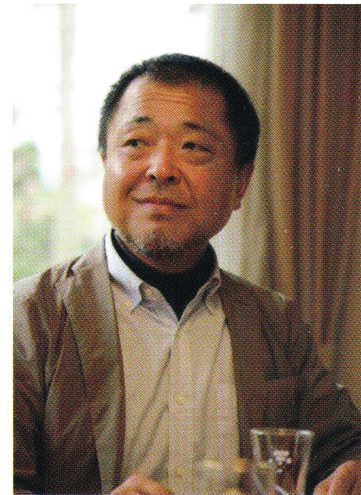
1961年広島生まれ。障害者福祉施設、社会福祉協議会、認知症介護研究・研修仙台センター講師、GH・小規模多機能施設の施設長という職を経て、2014年11月よりサンキ・ウエルビー株式会社コミュニティサポートアドバイザーに就任。その傍らで、東北復興支援にかかる事業に参画。現在は、1ヶ月の殆どを東北で過ごし、被災地コミュニティ再生事業、被災地域の「地域包括ケア」の取り組みに参加・助言している。岩手県陸前高田市の地域包括支援コーディネーター、同市の地域福祉活動計画策定アドバイザーに就任。

新しい総合事業研究会に参画。「新しい総合事業」を説いたガイドブック「生活支援コーディネーターと協議体」(以下に紹介)のマンガ・イラストを担当。西日本では、ガイドブックを監修した吉田昌司氏(前厚生労働省老健局振興課課長補佐)と共に研修を企画・登壇。イラストレーター。

【主な著書】

◎「見守り活動」から「見守られ活動」へ 住民歴史とエゴマップづくりのすすめ [全国コミュニティライフサポートセンター発行](新しい総合事業の移行戦略～通いの場づくりをすすめるための「地域づくり」のためのガイドブック～に推薦)

◎生活支援コーディネーターと協議体 [全国コミュニティライフサポートセンター発行] (マンガとイラストを担当。協議体を解説するマンガ「支え合い町と丸投げ町」の対比ストーリーがウケて、この本は通称『マンガ本』と呼ばれる)



平成 28 年

3 月 3 日 (木)

13:30～15:30

(受付 13:00～)

いたみホール

大ホール

手話通訳・要約筆記あり

申込方法

裏面の参加申込書に必要事項を記入の上、電話・FAX・メールにて問合せ先までお申込みください。

問合せ先

伊丹市社会福祉協議会 (伊丹市広畑 3-1)

TEL:072-785-0860 FAX:072-787-6911

e-mail:info@itami-shakyo.or.jp

※本フォーラムは「ストップ・ザ・無縁社会全国キャンペーン」の助成を受けて実施します。

共催: 伊丹市社会福祉協議会・伊丹市



参加申込書

【平成27年度 地域見守りフォーラム】

下記に必要事項をご記入の上、電話・FAXまたは、
e-mail (info@itami-shakyo.or.jp)までお申し込みください。

氏名	
連絡先	TEL _____ FAX _____
	お住まいのエリアについて 市内 (_____) 校区 ・ 市外 (_____) 市
所属 (当てはまる□に <input checked="" type="checkbox"/> チェックしてください)	<input type="checkbox"/> 地区社協等関係者 <input type="checkbox"/> 自治会長 <input type="checkbox"/> サロンボランティア <input type="checkbox"/> 民生委員児童委員 <input type="checkbox"/> 地区ボランティアセンター登録者 <input type="checkbox"/> 福祉職関係者 <input type="checkbox"/> その他(_____)
同伴者氏名	

※いただいた情報については、本フォーラム以外では使用いたしません。

伊丹市社会福祉協議会 (地域福祉推進担当)

〒664-0014 伊丹市広畑 3-1 (いたみいきいきプラザ内)

TEL: 072-785-0860 FAX: 072-787-6911